

議会運営委員会視察ルポ

八月二日から宝塚市、芦屋市、富山県魚津市の視察を行いました。

宝塚市では、主に議会の電子情報機器の活用の方について研修を行いました。平成十三年一月に全議員にパソコンを配置し、IT化を図っています。しかし、委員会・本会議へのパソコンの持ち込みは、電源確保や、LAN等の設備対応に多額の費用を要するため、制限が課せられていました。

市庁舎内とのネットワーク化は、ブライバシー保護や、コンピュータウイルスの問題が懸念され、具現化はしていませんでした。

芦屋市では、主に議会運営全般について研修を行いました。常任委員会の開催は、一日一委員会制。本市は、一日四委員会制を取っており、委員会所属外の議員が、その委員会を傍聴することができるメリットがあるとのことでした。

また、議会構成委員会を設置して、パソコンの導入や、日曜日議会の開催を模索したり市議会の活性化を進めていました。

魚津市では、主に議会情報の発信について研修を行いました。

平成十一年九月からインターネットでの議会生中継を行い、十二月



芦屋市で議会運営について説明を聴く

からCATVを利用した議会生中継と録画中継を行っています。

インターネットのアクセス数は、一議会あたり約百五十件(約二十六%)。CATVは視聴率調査をしていないため分かりませんが、単純に二十六%で割り出すと二千四十七世帯となります。

これを本市の人口比率に置き換えても初期投資をする価値はあると思います。

今回の先進地での事例を参考にし、今後市民の皆様にに対し、より一層スピーディーで、分かりやすい議会情報の提供のあり方を研究して参ります。

議会報編集特別委員会 行政視察報告

議会報編集特別委員会は、八月十九日・二十日の二日間、視察・研修を行いました。

兵庫県篠山市では、一般質問の通告の際に、質問者が質問内容と関連写真を提出し、質問日から一週間で答弁書を作成するなどの努力をされ、議会開催の翌月には発行して市民に手渡しておられました。

文章も、です。ます。」体で見やすく、なっており、表紙はオールカラー、



大阪府箕面市で議会報の編集について視察

中身の紙面は二色刷りにして市民に手にとってもらえるよう工夫されています。

大阪府箕面市では、レイアウトをMOに入力して印刷業者にそのデータを入力するという方法がとられていました。しかし、操作に精通した事務局職員の確保が大変のようでした。

内容では、定例会の焦点や、議案に対する討論が分かりやすく掲載されています。また、委員会の報告も問答方式で分かりやすくなっています。また、これらは殆ど事務局職員の仕事によるものとの説明があり、職員の方たちの尽力が大きいことを痛感させられました。

両市とも市民の知る権利を守り、市民本位の編集で分かりやすく親しまれる紙面づくりを目指して奮闘しておられ、大変勉強になりました。

会派視察報告(みらい)

「みらい」は十月十八日から二十日の間、行政視察を行った。

船橋市では、二学期制の導入について研修した。

二年間の試行の結果から、メリットとしては、①授業にゆとりが生まれる。②よりきめ細かい指導ができる。③長期休業中も学習の

意欲を途切れさせることなく学習計画が立てられる。④行事を入れ難かった七月・十二月・九月・一月も学校・地域の行事や校外学習を取り入れることができる。

荒川区では学校選択自由化について研修した。自由化の目的は、①子ども達が自分に適した教育環境で能力を伸ばすことができるようにする。②各学校在学を凝らし、競い合って伸びていく環境をつくる。③子ども達の進路について、子どもと保護者が話し合う機会をつくる、としている。

選択の自由化の効果として、①教職員の教育意欲と学力向上のための創意と努力が顕著。②区独自の教員研修・基礎指導力向上の実技研修・優れた教師に研修を受ける区内派遣研修・英語先進校への派遣研修・海外語学研修費用の助成等)の実現などがある。

さらに、民間複合施設「コレクティブハウスかんかん森」と精神障害者支援センター「アゼリア」を視察研修した。

港区では「精神障害者共同作業所 みなと工房」を視察研修した。

訂正

市議会だより第一三三三号の写真の説明において、大谷小学校とあるのは、春日西小学校の間違ひでした。お詫びして訂正いたします。